

宮里老人クラブ新聞 みやわし

第18号

会長：前門 政子
題字：喜屋武磯江
編集：山下 博實

新屋孝一さん を偲んで

暖かさや優しさと、未来を見つめる姿を



【写真は沖縄タイムス誌より】

地域の発展に多大な貢献をされた新屋孝一さんが、三月四日に永眠されました。享年86歳でした。

新屋孝一さんは長年にわたり県下の教育分野で幅広く活躍され、令和五年十一月三日には教育功労で瑞宝双光章を受章されました。地域の活性化にも積極的に参画され、沖縄市民憲章推進協議会会長や沖縄市老人クラブ連合会会長なども歴任されました。ご遺族や地域の皆さんからは「先生はいつも地域の未来を考えておられました」との声が寄せられています。

新屋孝一さんの偉大な功績を称え、心からご冥福をお祈りいたします。

役員会だより

役員会開催：3月20日(木) 公民館1F 学習室
議長：前門政子会長 出席：役員6名
議題

1. ピクニック報告：参加者合計29名
2. 定期総会に向けて
役員：次回役員会までに絞り込んでいく

4月の予定

- ・4/03 第1(木) 10:00～公民館2階
百歳体操と定例会
- ・4/10 第2(木) 10:00～公民館2階
百歳体操と定例会
- ・4/17 第3(木) 10:00～公民館2階
百歳体操と役員会
- ・4/24 第4(木) 10:00～宮里公園
グランドゴルフ

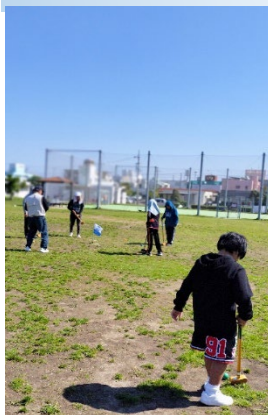
(雨天時：百歳体操と定例会 公民館2階)

★定例会では役員会報告や踊り、各種ゲームを楽しみます。

★毎週(月)(火)(水)、(金)(土)は 9:00～宮里公園にてゲートボールとゆんたくが開かれます。

宮里自治会主催

グラウンド・ゴルフ大会



寒気が抜けた沖縄は一片の雲も無い美しい藍色のグラデーションが空一面に広がります。3月22日(土)自治会主催の大会が開かれた若夏公園はまさにそんな好天に恵まれました。小学生から高齢者までの方々約30名ほどが集まった芝生。金城



ゲートボール大会開会式【若夏公園】

清美自治会長と前門政子みやわし会会長が直立不動で向かい合った愉快な選手宣誓で、和気藹々と試合開始です。第3班4名のチームで



ホールインワンの稲嶺信男さん
右は主審の前代直樹さん

では、開幕第一打で江洲利江さんが劇的なホールインワン。後半最終ホールでは稲嶺信男さんがこれまた劇的な一打。みやわし会の前濱末子さんも。決して易しいコースではないのですが、皆さんのストロークが冴えました。



上江洲安輝さん
{最高齢者賞}

参加者全員に豪華な参加賞や賞品が。最高齢者賞を受けた上江洲安輝さん、「また来年もみんなで元気に参加しようね」と楽しそうに話していました。

宮里みやわし会 ピクニック 与勝巡り

3月10日(月)、青空が広がり汗ばむほどの陽気の中、29名を載せたバスは海中道路へと。与勝の4つの島を巡りました。



冒頭、前門政子さんの声掛けで、全員で新屋孝一さんへの黙とうがささげられました。

手作りののぼりを掲げて、まずは宮城島の塩工場めちまーす。そして伊計島の仲原遺跡へ。ここでUターンして昼食は浜比嘉島の浜漁港公園広場。美味しい笑顔が広がりました。そこで運天先利さん夫妻の三線サプ



仲原遺跡

ライズ演奏が。楽しい演奏に松田政子さんが愉快に踊りだし、雰囲気があつと盛り上がりまふ。次第に皆さんが加わりカチャーシーに。内地からの観光客もまた楽しそうに見入



三線の響きに沸き立つ松田政子さんたち

さらに、東江信雄さんは輪投げを企画していました。皆さんが思い思いに挑戦。名人と



輪投げ名人の大城ヨシさん



卒業後上級公務員試験に受かり、私の事務職員公務員生活が40年続くことになりました。最初に勤めた前原高で主人と出会い、三人の子宝に恵まれます。美

島。故郷も戦火で住めず、家族で山奥に逃れました。ひどい時代でした。戦争が終わり、私は小学校へ。教室はコンセツトでソーメン箱の机でした。皆でよく遊びました。大宜味村役場の大きな木の上で鬼ご

したり、海にもぐったり。家に帰ると兄が勉強を待っていました。厳しかったです。中学は、父と税関勤務の兄の都合で那覇へ。そこでも厳しい勉強は続き、おかげで高校大学と順調に進学できました。

里高校創立で事務長の辞令を受け、最後の勤務もまた美里高校でした。一方、主人も校長に。石川での定年後の生活を楽しみにしていたのですが、主人はあまりにも早くに旅立ってしまいました。宮里に移転した今、在職中に宮里婦人会長をさせてもらったこともあつて、みやわし会や地域の多くの友人知人が声をかけてくださいます。

思い出がいっぱい



幸せにありがとう

富田 順子



私の故郷は大宜

味村大兼久、小さな

漁村です。昭和の初め、私の父は楽ではない暮らしに見切りをつけ、

両親を残して、勇気あることに区民の移住者を引率し南洋パラオ島に出稼ぎにでました。私はそこで六人姉弟の末つ子として生まれました。が、勃発した戦争で平和な暮らしが破られ、すべてを失った父はまた区民を連れて帰

た。戦争が終わり、私は小学校へ。教室はコンセツトでソーメン箱の机でした。皆でよく遊びました。大宜味村役場の大きな木の上で鬼ご

したり、海にもぐったり。家に帰ると兄が勉強を待っていました。厳しかったです。中学は、父と税関勤務の兄の都合で那覇へ。そこでも厳しい勉強は続き、おかげで高校大学と順調に進学できました。

里高校創立で事務長の辞令を受け、最後の勤務もまた美里高校でした。一方、主人も校長に。石川での定年後の生活を楽しみにしていたのですが、主人はあまりにも早くに旅立ってしまいました。宮里に移転した今、在職中に宮里婦人会長をさせてもらったこともあつて、みやわし会や地域の多くの友人知人が声をかけてくださいます。



孫達も八人。よく遊びに来てくれて、いつもたくさんの方の幸せを感じます。一日を無事に過ごせたことを主人に報告し床に就く毎日です。「元氣出せその気持ちこそ第一歩、私寅年百歳まで」これからも健康第一に楽しく明るく日々を送りたいと思っています。